

事業者と消費者の相互理解と信頼再構築をめざして

2011 双方向コミュニケーション研究会まとめ

目 次

初めに 2010年度研究会の紹介と2011年度に目指したこ と	K C' s 事務局	P 1～2
第一章 “双方向コミュニケーションとは”		
1. 基調報告「2010年度研究会の成果と本年度課 題」	K C' s 坂東俊矢常任理事	P 2～3
2. 問題提起「研究会の進め方について」	消費者志向研究所 池田康平代表	P 3～5
第二章 “研究会での論議”		
1. 「高齢者とのコミュニケーション」		
1) 現場からの報告①「ユニバーサルデザイン」	K C' s あざみ祥子理事	P 5～8
2) 現場からの報告②「高齢者の置かれている状 況と事業者に期待すること」	N P O法人友遊 山田満代事務局長	P 8～12
3) 研究会での論議報告「高齢者問題の深堀」	K C' s 事務局	P 12～13
4) 高齢者とのコミュニケーションの論議を通じ て	研究会参加者	P 13
2. 「消費者教育」		
1) 「事業者と消費者の双方向コミュニケーションのた めの消費者教育の論点」	大阪教育大学 大本久美子准教授	P 13～15
2) 「問題提起—事業者と消費者の双方向コミュ ニケーションと消費者教育の課題」	K C' s 坂東俊矢常任理事	P 15～17
3) 研究会での論議報告「食品を選ぶ基準・開発 する視点」	K C' s 事務局	P 17～18
4) 消費者の商品選択基準をブラッシュアップす るコミュニケーションのあり方について	K C' s 片山登志子副理事長	P 18～19
3. 「マスコミとのコミュニケーション」		
「マスコミとの上手な付き合い方」	中日新聞生活部 白井康彦編集委員	P 19～23
第三章 “研究会を受けての実践報告”		
1. 実践報告「友遊ふれあい昼食会」	N P O法人友遊 山田満代事務局長 研究会参加者	P 23～25
2. 実践報告「最寄クラブハナミズキ」	K C' s あざみ祥子理事 研究会参加者	P 25～29
3. 2回の実践に至った経緯と実践の中で感じた こと	K C' s 事務局	P 29～30
第四章 “双方向コミュニケーションを実践してみましょ う”		
～まとめにかえて～	K C' s 片山登志子副理事長	P 30～31
高齢者とのコミュニケーション論議相関図	K C' s 事務局	P 32
2011年度双方向コミュニケーション研究会参加者名簿		